

令和8(2026)年2月17日
産業建設常任委員協議会



道の駅「風の丘米山」の再整備案について

産業振興部 道の駅「風の丘米山」整備推進室

これまでの議会答弁

- 国道部分は白紙となったが、再整備事業自体が白紙になった訳ではない
- 一番の観光誘客エリアである当該地に道の駅を存続させたい
- 丘側エリア単独での再整備を念頭に、様々な角度から比較検討
- 地場製品の安定的な供給は難しいという、JAや魚市場等、関係者の声
- 商業機能は道の駅再開の必須条件ではない
- パンフェスタや軽トラ市等、ソフト事業によるイベント集客
- 当該地は日本海、米山と柏崎市のベストビューポイント
- 芝生広場や遊具を配置し、景観や自然を感じながら時を過ごすエリア
- コレクションビレッジの在り方などを鑑み、再整備の在り方を模索

道の駅「風の丘米山」の再整備案について

基本設計の概要（令和6（2024）年2月策定）

【丘側エリアの位置付け】

眺望や広い土地を生かし、集客性のある整備によって遊びと学び、
楽しみを創出するエリア

【ターゲット】

シニア層に加え、遊びと絶景による来訪機会を創出し、新たに若者や
親子などを取り込む

6 道の駅エリアの再編成



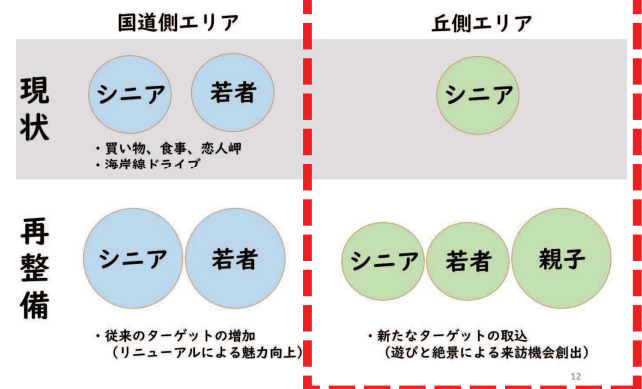
各エリアの位置付け

国道側エリア
視認性の高さを生かし、隣接する商業施設との連携による賑わい創出と情報発信のエリア

丘側エリア
眺望や広い土地を生かし、集客性のある整備によって、遊びと学び、楽しみを創出するエリア

コンセプト
海の幸などの食、物産、景観を生かし、海の柏崎の魅力を体感できる道の駅

7 ターゲット



基本的な考え方

- 令和6（2024）年2月の「風の丘米山」再整備基本設計をベース
- 眺望と憩いに特化した道の駅
- 基本機能は、道の駅再開に必要な最低限の整備内容
- 商業機能（ハード）は持たせず、イベントや週末出店等、ソフト面で補完
（ex.道の駅に来れば買える、道の駅でしか買えない）
- 資材高騰の中、事業費を圧縮しながらも、集客コンテンツを導入

道の駅「風の丘米山」の再整備案について

再整備案

【基本機能】

トイレ、情報発信設備、防災倉庫、駐車場.etc

【集客コンテンツ】

屋上展望、展望デッキ、ベンチ、芝生広場、ドッグラン、大型遊具、キッチンカースペース、フォトジェニックな空間.etc

再整備の効果を高めるため、

「花の丘」 コンセプトを追加

※コレクションビレッジの再整備を含む



道の駅「風の丘米山」の再整備案について

再整備の工程

コレクションビレッジも含む元来の道の駅部分は、事業区域が広大
⇒ 段階的に整備

【第1フェーズ】

基本機能+集客コンテンツ（西側）

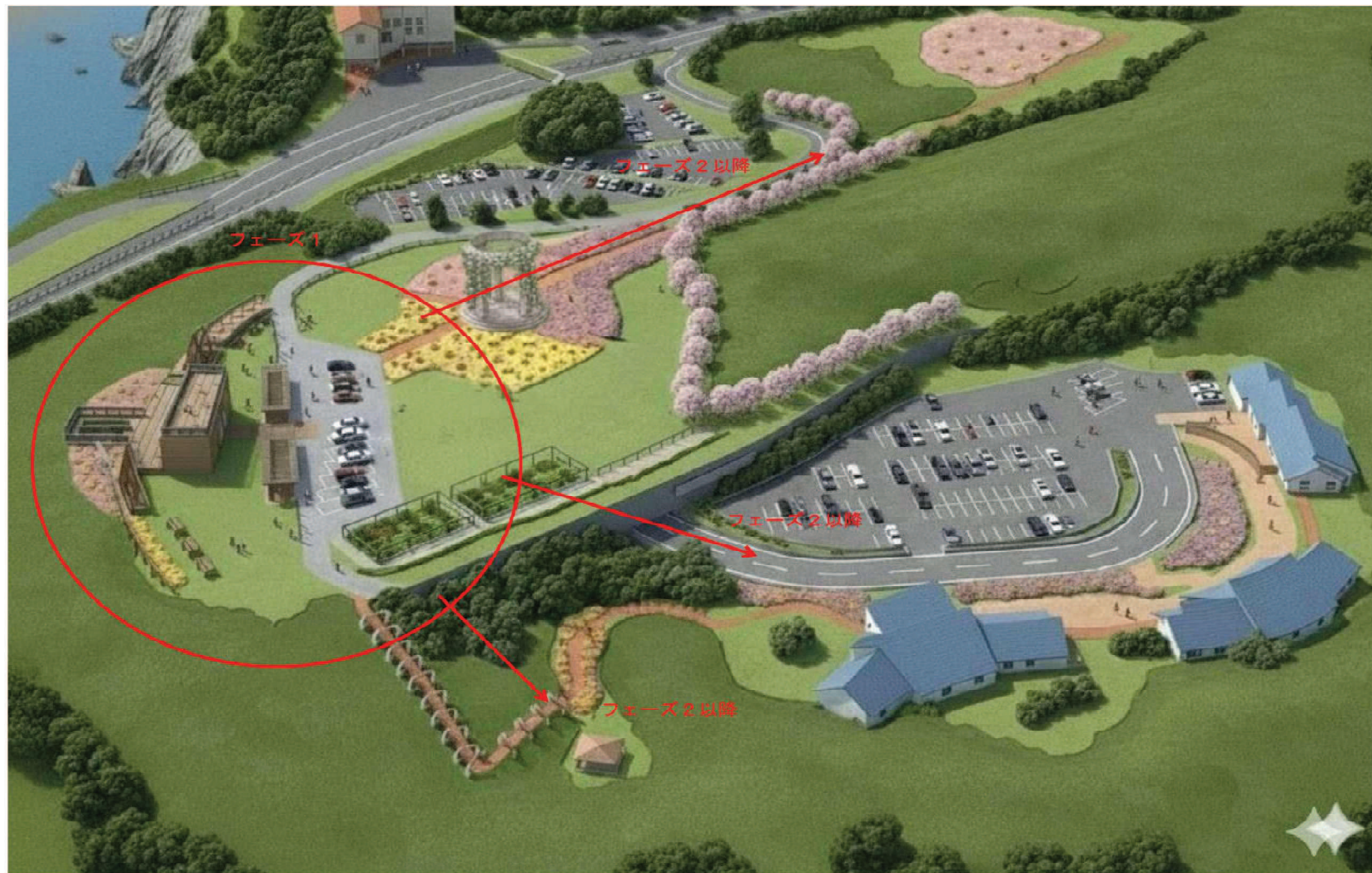
【第2フェーズ以降】

第1フェーズの東側、南側へ事業区域を拡大

- ・ 第1フェーズの運営状況や需要などを確認
- ・ コレクションビレッジ再整備案の一つとして、痴娯の家の「花の絵コレクション館」構想

道の駅「風の丘米山」の再整備案について

再整備イメージ図



※生成AI作成画像